

病院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (研究番号)	早産児における出生後の腎機能の推移および腎予後の検討
当院の研究責任者 (所属)	中西浩一（琉球大学大学院医学研究科育成医学（小児科）講座）
他の研究機関および 各機関の研究代表者	なし
本研究の目的	クレアチンは筋肉に含まれるたんぱく質の老廃物であり、主に腎臓よりろ過され尿中に排泄されるため、血液検査のクレアチニン値は腎機能の指標として使用されています。小児においては、このクレアチニン値が年齢、性別によって大きく変わるため、本邦では生後3か月以上の小児の基準値が発表されています。一方で、早産児における生後早期のクレアチニン値の変動についての報告は少なく、本邦からの報告はありません。そこで、早産児における出生後の血清クレアチニン値の推移を検討することとしました。また、腎機能の予後と関連する因子、および出産直前の母と出生直後の児の血清クレアチニン値についての検討も合わせて行います。
研究実施期間	許可日～ 2025年 3月 31日
調査データ(該当期間)	2012年3月～2025年3月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<p>●対象となる患者さま</p> <p>2012年3月から2025年3月の期間に琉球大学病院 NICU に入院歴がある、在胎37週未満で出生した早産児</p> <p>●利用する試料・情報</p> <p>診療録より、性別、在胎週数、出生体重、出生身長、分娩形式、Apgar score、基礎疾患、出生後24時間の尿量、生後初回から退院日までの血清クレアチニン値、最終採血時の年齢/月齢・身長・血清クレアチニン値、最終採血時に腎機能低下を認めた症例は初めて腎機能低下を確認した年齢/月齢、治療歴、新生児死亡の有無、出産前母体情報として最終血清Cr値、塩酸リトドリン/マグネシウム製剤の使用、妊娠高血圧症/妊娠糖尿病の有無、その他胎盤重量、胎盤梗塞の有無など</p>
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし

および提供方法	
試料・情報の二次利用	本研究で取得した情報は、別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し研究機関の長の許可を得ます。
個人情報の取り扱い	研究において対象者の情報を扱う際は、個人情報とは関係のない符号または番号を付して匿名化します。論文作成時、学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。また、オプトアウトの範囲外において情報の利用を行いません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究は琉球大学利益相反審議部会の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得て行います。
お問い合わせ先	電話：098-895-1154 担当者：琉球大学大学院 医学研究科 育成医学（小児科）講座 中西浩一
備考	